

臨床工学部門・新人教育カリキュラム

【教育方針】

臨床工学技士はチーム医療の一員として、様々な職種と一丸となり一人の患者さんを連携し治療をしたり、多種多様な医療機器に精通しながらも基本的な内容からトラブル対応までをフォローする専門職であります。

専門職である臨床工学技士は常に専門性を高める事が必須であり、基礎学問に支えられた専門技術を構築し、生涯を通して学術・技術に励む事により質の高い医療として還元されることを目標としています。

そして広島大学病院臨床工学部門はプライドを持って匠の技術を習得し育成しながらも、医療人として人格の優れた人材を養うことを目指しています。

【新人教育プログラム】

入職後、循環器業務、医療機器管理業務、呼吸代謝業務のいずれかを職場内教育（On the Job Training :OJT）や講習会、勉強会教育(Off the Job Training :Off-JT)、目標管理(Management by objectives:MBO)自己学習(Staff Development:SD)します。

各業務は1年毎にローテーションします。図1

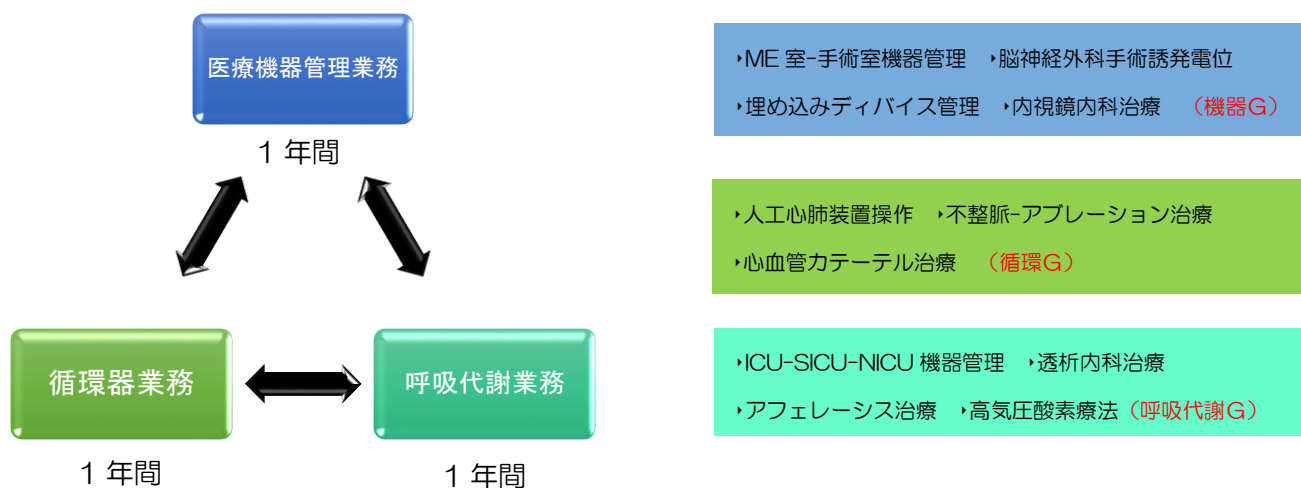


図1 各業務のローテーション

- 新規入職者は、新人研修会を受けて大学のシステムや医療人としての心得、臨床工学部門の理念などを学びます。
- その後指導者とともに各業務の初級コース(level 1)評価表(表1)に沿った年間教育計画

を決定し目標を管理します(MBO)

1. 循環器業務
人工心肺 level 1 評価表・虚血心臓カテーテル level 1 評価表・不整脈治療 level 1 評価表
2. 医療機器管理業務
ME 機器管理関連 level 1 評価表・ペースメーカー関連 level 1 評価表・誘発電位測定 level 1 評価表
3. 呼吸代謝業務
血液浄化関連 level 1 評価表 集中治療関連 level 1 評価表

*業務別評価表については本人、指導者、業務リーダー(管理者)が評価を行います。
評価は4段階評価とし、3.5点以上を目標到達レベルとします。

- 実際業務を行いながら学びます(OJT)。
- 実際の臨床業務の中で、評価表を確認しながら不足している知識や技術を見出し、指導者による講習・勉強会を行います(Off-JT)。また院外の講習会や学会等に参加することにより個人でも学習し、知識や技術を向上させます(SD)。
- SD 及び Off-JT で得た知識を OJT で生かし、更なる質の高い医療を目指します。
- 新人職員と年間教育計画と評価表を照らし合わせ、不足している技術や知識を再度学びながらステップアップを目指します。(図 2)

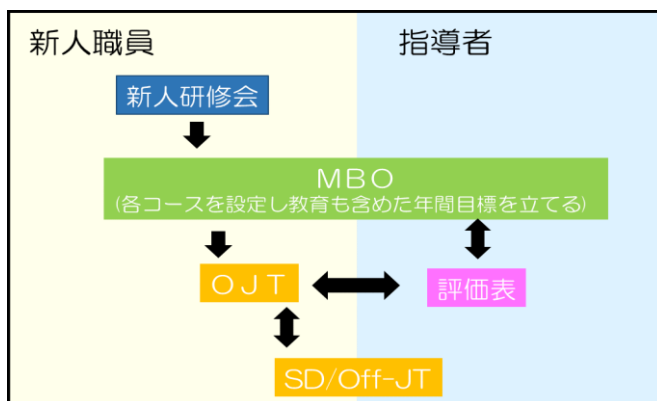


図 2 教育フローチャート

【学術実績】

入社3年未満時の学術実績を下記に示します。個々の技術の向上や優秀なアイデア・発案に対しては時間的余裕や環境を提供しサポートします。全国大会での発表や執筆も行っています。

大分類	小分類	タイトル	摘要名（学会・講演）
全国学会	一般演題（ポスター）	カテーテルの違いによる心内圧測定を検討	第 22 回 日本臨床工学会
地方学会	一般演題（口演）	エキシマレーザーによるリード抜去術合併症例からの治療戦略	平成 25 年度 広島県臨床工学学会学術大会
地方学会	一般演題（口演）	植込み型除細動器（ICD）の不適切作動の把握に難渋した 1 例	第 3 回 中四国臨床工学会
地方学会	一般演題（ポスター）	集中治療領域における個人用透析装置の水質調査	第 20 回 中国腎不全研究会
地方学会	一般演題（口演）	採血陰圧モニター調整ダイヤルの設定に関する実験的検討	第 5 回 広島県臨床工学技士会学術大会
地方学会	一般演題（口演）	当院での心房細動症例における SOUNDSTAR カテーテルを用いた CARTOMERGE の方法	第 3 回 中四国臨床工学会
地方学会	一般演題（口演）	当院における人工臓器の使用経験	第 5 回中四国臨床工学会